

宮ノ原りんぼかん
第1回地域交流講座

科学研究につながる
科学おもちゃをつくらう！

夏休み特別企画！たのしくみんなで科学研究しよう！

にちじ 2026年7月24日(金)

9時30分～11時30分

こうし さとうみ科学館館長・職員

ばしょ 宮ノ原隣保館 1階 会議室

(宮ノ原交流プラザ内) 江田島町宮ノ原2丁目21-1

たいしょう 小学校4年生から6年生

ていいん 16名

さんかひ 無料

申込み期限 7月17日まで

お問合せ：宮ノ原隣保館 (0823) 42-4620

今回は、厚紙で「マジック吹きコマ」、「三枚羽根ブーメラン」をつくりました。また、店で簡単に買える紙皿で「紙皿UFO」、そしてスーパーボールなどでストローを飛ばす「スーパーボールロケット」をつくりました。どの作品も2種類作り、体育館で実際に飛ばし、飛び方の違いなどを観察しました。「紙皿UFO」は大きい皿の方がよく飛ぶと思っていた子どもたちが多くいましたが、実際は小さい皿の方がよく飛んでいくことを確かめました。また、スーパーボールに竹串を刺し、刺した竹串にストローを通して上から落とすとストローが予想以上に高く跳ね、まさにロケットのようでした。

子どもたちは、真剣に取り組んでくれました。おもちゃをつくっていると時の目の輝き、結果を確かめた時の驚きの表情は大人の喜びとなりました。

この地域交流講座が子どもたちの科学の扉を開く小さなきっかけとなってくれればと思っています。



にしはらかんちょう せつめい
西原館長の説明を聞く子どもたち



おもちゃについて聞く嬉しい子どもたち



かお よ あ こ
顔を寄せ合う子どもたち



きょうりよく
協力しておもちゃをつくる子どもたち



真剣な表情でおもちゃをつくる子どもたち



我先とおもちゃをつくる男子たち



実験結果に目を輝かせて驚く女子たち



大きいスーパーボールを選んで実験する児童

～ 参加してくれた子どもたちの感想です ～

- ※ 今日作ったおもちゃの中でも特に楽しい、おもしろいと思ったおもちゃは紙皿 UFO です。わゴムの「のびたらもとにもどるせいしつ」によって紙皿がとぶのがおもしろかったです。それで紙皿をバスケットゴールに向かって手を放すとカーブして輪を通り抜けました。とてもおもしろかったです。(小6)
- ※ 紙皿UFO は大きいほうが飛ぶと思っていたけど、やってみたら小さいほうが飛ぶことに気づきました (小5)
- ※ なぜ、UFO はまっすぐに飛ばないのかな？なぜ、ブーメランは返ってくるのかな？どうしてスーパーボールがバウンドしてストローが飛ぶのかな？ (小4)
- ※ ブーメランのはねが四つだったらどうなるのかな？ (小4)
- ※ 工作をしながらかがくをするのがたのしかったです。(小4)

参加してくれたみなさん、ほんとうにありがとうございました。